

コロナ下でこそ賃上げを！

3.10
統一行動

経営者団体へ要請・対話

最低賃金・全国一律へ、全労連・中小企業支援「提言」示す



県商工会議所連合会に要請

県労連・春闘共闘の代表ら四人は全国統一行動日の三月一〇日、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会の三団体、同三十一日には県経営者協会を訪れ、賃金の引き上げと労働時間管理、雇用の安定、パワハラの根絶、中小企業支援の抜本拡充、医療・公衆衛生体制の拡充について要請しました。



県商工会連合会と懇談

勝見忍代表幹事は「コロナ禍によって傷ついた経済を立て直すためにも今ほど勝見忍代表幹事は「コロナ禍によって傷ついた経済を立て直すためにも今ほど賃上げが焦点になっているときはない」と強調。最賃の大幅引き上げと全国一律制度の確立に向けた、全労連の中小企業支援に関する提言を紹介しながら、国の施策としてすべての中小企業の賃金引き上げが可能になる抜本的支援策を拡充する中で、「全国一律最賃を実現し地域間格差をなくしたい」と述べました。



県中小企業団体中央会に要請

県経営者協会では、丹哲人専務理事は、「人手不足解消、人口流出をくいとめるためにも賃金を引き上げなければならないが、難しいところもある」とする一方、最賃について「経営者協会がまとめ役となることができるだけ改善したい」と応じました。また、男女

「企業の採用比率は男性が多い。もともとの母数を増やす中で女性の比率を高め、是正していきたい」とし、「女性の働き方を改善しないと企業として生き残れない」との認識を示しました。

22春闘 要求の前進を

春闘共闘代表者会議開く 職場・地域の活動を交流

山形県二〇二二年国民春闘共闘委員会は二二春闘の経験进行交流しようと、四月二日、山形市内で代表者会議を開き、オンラインも含め約二〇人が参加しました。勝見代表幹事はあいさつで、急激な物価高騰で生活が厳しくなっていると、最賃の大幅引き上げと全国一律化、消費税減税を求める運動の重要性を強調しました。

交流・討論では、次のような活発な活動が報告されました。

コロナの影響により赤字だが補助金等により黒字となったが、本業で稼げない状態だ。その中でも上積みを取った（医療生協労組）。国の処遇改善の正当の対象は病院の看護師のみ、介護は病院の看護師のみであり同じ法人の中でも分断されている（本間病院労組）。鶴岡市分会で年令給一〇〇〇円のベースアップを勝ち取った。臨時職員は、一・六％（平均三二〇〇円）の回答を引き出した（農協労）。とかみ分会では、国の処遇改善

の手当て九〇〇〇円を全員で分けると一人四三〇〇円にしかならない。養護老人ホームの蔵王長寿園は支給対象外だ。全国福祉保育労で署名提出行動に取り組んだ（福祉保育労）。村山市の会計年度任用職員にアンケートをお願いしたところ一〇〇人中五五人から回答があった。「学習会に参加するか」との問いには三〇人が「参加する」と回答した（公共一般）。一般職の一次回答一〇〇〇円だったが二次回答で二〇〇〇円に前進させた。地区給も八〇〇円の回答を得た（建交労）。組織拡大で四〇五月は誰が誰にあたるかを決め対話をすすめる。新採教員に「組合とは」の学習を呼びかけている（山教組）。配達担当に月二〇〇〇円の手当との回答があった。パワハラでひどい事例があったので、学習会を行うことになった（共立社労組）。

会議では最後に、最賃アンケートや最賃キャラバンなど当面の最賃闘争の取り組みなどを提起し意思統一しました。

草の根からの運動で共闘の再建を 国民大運動県実行委員会が学習会ひらく 五十嵐仁氏(法政大名誉教授)が講演

県労連が事務局を務めている「軍事費を削ってくらしと福祉・教育の充実を」国民大運動山形県実行委員会は四月二日、法政大学名誉教授の五十嵐仁氏を講師に迎え、今夏の参院選をテーマとした学習講演会を山形市ビッグウイングで開催しました。約七〇人が参加して、オンラインでもライブ配信されました。

主催者を代表して、佐藤弘代表委員(山形県商工団

体連合会・会長)が主催者あいさつを行い、共産党山形県委員会から石川渉・くらし福祉対策委員長が連帯あいさつ、「市民と野党共闘への分断・破壊攻撃を打ち破って再結集を図り、参院選勝利で改憲勢力を少数に追い込みましょう」と呼びかけました。

五十嵐氏は「参院選をめぐる情勢と野党共闘の展望」と題して講演しました。ロシアによる国連憲章と国際

維新の会、国民民主党による野党弱体化と分断を目的とした「野党共闘は野合、無力、反対ばかり」といった攻撃をきびしく批判。「憲法じゅうりんを許さず、活憲政府の樹立」をめざして、参院選では共闘の意義を再確認し、エールの交換、一人区での野党統一

候補の勝利、草の根から共闘の再建を呼びかけました。そして、「声をあげれば変わるという、あきらめない姿勢で学び伝えよう」と訴えかけました。

参院選勝利し改憲勢力2/3議席獲得を阻止しよう 国民大運動県実行委員会 22年度総会を開催

講演する五十嵐仁氏

人道法違反のウクライナへの侵略戦争に抗議し、典型的な覇権主義・大国主義の蛮行を「世論と経済制裁で国際的に包囲しよう」と強調しました。

「軍事費を削ってくらしと福祉・教育の充実を」国民大運動県実行委員会は三月一四日、山形市男女共同参画センターで二〇二二年度定期総会を開きました。

力だとし日本も「核共有」すべきとする議論を批判しました。また、政府の当初予算に賛成し与党化した国民民主党とは共闘の条件がなくなったとし、「野党共闘の再建への努力を払い、参院選で政権交代の土台を築こう」と訴えました。

討論では、各団体からの参加者から活発に発言がありました。山形、米沢、酒田の三市での学生への食料支援や東根市でのフードドライブ、生理の貧困解消と生理用品のトイレへの常置運動、コロナ禍による米価暴落や凍霜害被害救済の取り組み、最賃一五〇〇円・全国一律化の運動、少人数学級実現の議会請願などについて豊かな経験が報告され交流



総会で熱心に議論する参加者

山形県労連は
ウクライナへの
人道支援募金活動に
取り組んでいます。

皆様の積極的なご協
力をお願いします！

職場の労働組合に募
金をお寄せ下さい。